

①地域の福祉課題に対する事前学習

(1) 高校内居場所カフェについての学習 (9/15)

- ・授業担当者より、高校内居場所カフェとは何かについて講義を行った。

【参考文献】

- ・居場所カフェ立ち上げプロジェクト著・編『学校に居場所カフェをつくろう! ——生きづらさを抱える高校生への寄り添い型支援』(2019、明石書店)

【参考VTR】※全てYouTube

- ・「2019年7月19日放送【大和東高校】「学校でもない。家庭でもない。生徒たちの新しい第3の居場所」～ボーダーカフェ～」
- ・「2020 02 20 大阪府・高校【居場所カフェ】学校の中で安心して過ごせる場所・日本の学校のありのままの現実」
- ・「図書館が変身! 生徒の居場所になるカフェ」

(2) 高校内居場所カフェですべきこと、したいこと (9/17)

- ・前回の授業を踏まえて、どのような居場所カフェが必要かについて、グループで話し合っ、発表した。

※その他、地域の課題について考えるグループワークを複数回行った。



②市民活動団体と協働して行う市内でのフィールドワーク

- ・12月1日(火)、12月23日(水)に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて中止とした。
- ・新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言を受けて実施を延期し、3月18日(木)に実施した。

2年生「尼崎学」高校内居場所カフェプロジェクト 教室掲示

高校内居場所カフェ



[3月18日(木) 12:00~13:00]

高校内居場所カフェって?

生きづらさを抱える高校生への寄り添い型支援として、2012年に大阪府立西成高校で始まりました。高校生が安心して、くつろげる居場所を学校の中にするという取り組みです。

こんなことができます♪

- ・休憩
- ・読書
- ・種・先生以外の大人に相談
- ・カードゲーム

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、教室内での

飲食禁止

となります。

休憩・読書、大人スタッフへの相談、カードゲーム等の使用は可能です。また、退室時に持ち帰り用の飲み物などを運び予定です(数量限定)

場所：社会科教室(東館3階) 参加費：無料

協力：NPO法人スマイルのぼ 此のプロジェクトは、「居場所カフェを育む人づくり支援事業」の補助金で運営しています。





- ・飲食は不可とし、代わりに帰りに持って帰ることができる飲み物を用意した。
- ・居場所カフェには、ゲームや書籍を置き、ソファやマットでくつろげる空間を作った。
- ・参加スタッフは、高校生2名とNPO法人スマイルひろばの小倉さん、NPO法人サニーサイドの前口さん。
- ・参加生徒は、2名

③複数回の学習内容の振り返り

(1) SDGsとは何か(2/2)

- ・授業担当者が、SDGsについての授業を行った。
- ・SDGs ババナキというカードゲームを通じて、SDGsについての理解を深めた。

(2) SDGs・市の総合計画と各プロジェクト(2/4)

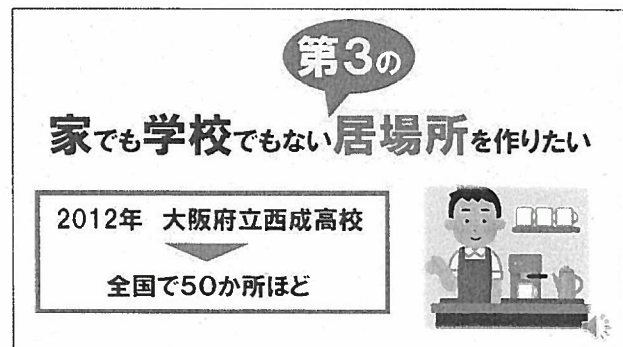
- ・授業で各グループが行ったプロジェクトがSDGsや市の総合計画とどのような関係にあるのかについてまとめた。
- ・その中で、高校内居場所カフェについても、SDGsや市の総合計画との関係について考えた。

(3) 高校内居場所カフェの振り返り(3/30)

- ・授業時間内では実施後の振り返りができなかったため、3/30にスタッフとして参加した生徒が振り返りを行い、学習成果を報告する動画を作成した。

④動画制作による学習成果の報告

- ・今年度は、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、学校全体での学習成果発表会が中止となった。
- ・そのため、事業・学習成果の報告は動画制作に変えた。



昨年度の様子



高校内居場所カフェ
始めます。

雰囲気がよく居心地がいい
気軽によれて交流もできる
普段関わらない人と話せた

[12月13日 11:45~13:15]
会場：社会科教室（東館3階） 参加費：無料

今年度の計画

目標：実施回数を増やし、認知度を上げる

どんな居場所カフェ
がいい？

休校や
感染症防止
実施のめどが
立たない

12月の実施が中止に。。。

当日の様子



NPO法人スマイルひろば
NPO法人サニーサイド

- ・飲食をしながらくつろげる空間の大事さ
- ・感染症予防と居場所カフェ
- ・物理的な距離をとりながら、人とのつながりを絶やさず生活

⑤ 評価

(1) 想定していた活動成果に対する達成度合い

○ 達成できたこと

- ・新型コロナウイルス感染拡大が続く中、どのような形態で実施ができるのか、いつの時期がどうかなどを話し合いながら、形を変えて実施することができた。
- ・高校生スタッフが高校内居場所カフェの必要性を実感することができた。
- ・地域の大人と高校生が積極的に話す場面が見られた。

○ 達成できなかったこと

- ・年間通じた活動にしていく予定であったが、社会的・学校的に飲食を伴う事業の実施は難しいという判断があり、なかなか実施することができなかった。
- ・高校生のニーズにあったタイミングでの実施ができなかった。
- ・複数回にわたって職員会議で実施の意義について説明をしたが、意義を理解した教員は少数にとどまった。そのため、ホームルームでの告知も徹底できなかった。

(2) 学生等がかかわった地域、団体の活動の変化

- ・初めて来てくださった大人もおり、高校内居場所カフェの様子を知っていただくことができた。

(3) 学生等の学習意欲、地域に対する考え方の変化

- ・他の事業も含めてだが、地域の大人と協働することの面白さとそのことによって今までできなかったことができるようになることに気付く生徒が多かった。
- ・知らない人と知り合っていくことへの心のハードルが下がった。
- ・大人に褒められる経験をすることで、自分に自信をもつ生徒もいた。